

### 第13回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：令和4年12月15日（木）10：30～12：00
2. 場 所：ホテル千秋閣 6階孔雀の間
3. 出席委員：河口 洋一（徳島大学大学院 准教授）  
山田 量崇（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授）  
山中 亮一（徳島大学 環境防災研究センター 准教授）  
◎湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 名誉教授）  
(五十音順、◎：委員長)
4. 配付資料：  
資料1 議事次第、座席表、委員会規約  
資料2 環境モニタリング調査について  
資料3 環境モニタリング調査報告書（案）
5. 議 事：  
・環境モニタリング調査について  
(1) 長安ロダム本体改造の概要  
(2) 長安ロダム本体改造に係る環境影響検討の概要  
(3) 環境モニタリング調査  
(4) 総合評価  
(5) フォローアップ調査計画
6. 事業説明：  
第13回長安ロダム環境モニタリング委員会において、まず始めに議事（1）長安ロダム本体改造の概要、（2）長安ロダム本体改造に係る環境影響検討の概要について、事業概要の説明を行った。
7. 議事概要：  
(3) 環境モニタリング調査、（4）総合評価、及び（5）フォローアップ調査計画について取りまとめた内容の審議を行った。各委員から得られた意見は以下の通りである。  
(3) 環境モニタリング調査  
【令和4年度の選択取水設備の効果】

- ・選択取水設備運用開始後の3年間で、中小規模の出水時（放流量：1,500m<sup>3</sup>/s程度）の濁水長期化軽減効果は確認出来たが、大規模な出水時（放流量：4,000m<sup>3</sup>/s以上）における選択取水設備の効果を明確に確認できるまで、今後も調査を継続していただきたい。

#### （4）総合評価

- ・特に追加意見はなく、総合評価について了承された。

#### （5）フォローアップ調査計画

- ・来年度実施予定の水環境（選択取水設備の効果）、生態系典型性、ラン科Bについてのフォローアップ調査計画は妥当であり、フォローアップ調査の実施においては引き続き順応的管理の考え方を踏襲して実施することが望ましい。
- ・フォローアップ調査は長期間にわたるため、途中で人員が交代になった場合でも円滑な引継ぎが行われる体制が望ましい。

#### （6）その他

- ・長安ロダム環境モニタリング調査で環境に配慮した取り組みについて、PRできるパンフレット等を作成し、公開をしていただきたい。
- ・四国地方整備局の他ダムも含めて猛禽類の繁殖率を整理するなどし、今後の事業の環境影響検討に活用できるとよい。

以上の議事を踏まえ、環境モニタリング調査の結果および総合評価、フォローアップ調査計画は了承され、今回の委員会をもって、長安ロダム環境モニタリング委員会は終了とすることです承された。

（以上）